

日 時	令和8年2月19日(木) 13:45~15:35
学校名/機関名	宇都宮市立陽南中学校
対 象	1年生(221名)
講 師	陳 賢徳 氏(株式会社フェドラ 代表取締役) 戸塚 正一郎 氏(株式会社SUBARU 顧問) 林 明夫 氏(株式会社開倫塾 代表取締役社長) 山村 達夫 氏(学校法人金子学園認定こども園まこと幼稚園 理事長)
内 容	<p>「自己の在り方」を考え、将来必要となる勤労意欲や考え方を育むため、「働く人に学ぶ」をテーマとした講話を行いました。</p> <p>講話の中で講師は、仕事とは「お客さまが困っていることを解決すること」であり、それは個人の力だけでなく「チームプレー」で成し遂げるものだと語りました。自分の役割に責任を持つこと、リーダーとは振り向いた時に人がついてくる人であることなど、組織における大切な姿勢を説きました。</p> <p>また、県内の歴史や文化を知ることによって視野を広げる重要性に触れ、誰もが平等に持つ「時間」を有効に使うこと、「何事にも興味を持つことが知識を深める第一歩」であることを強調しました。仕事に向き合う際は根を詰めすぎず、物事を程よく捉える「良い加減・良い塩梅(あんばい)」という感覚も忘れないでほしいと語りました。</p> <p>旅客機づくりを例に挙げ、「一つの目的に向かう集団の強さ」や、仲間を大切にするファミリースピリット、そして「あわてない・あせらない・あきらめない」という「三つの『あ』」の精神についても触れました。成功と失敗は紙一重であり、毎日の小さな努力の積み重ねが「意味あるまぐれ(成功)」を手繰り寄せると、挑戦し続けることの大切さを伝えました。</p> <p>最後に、「今経験していることに無駄なことは一つもない」とエールを送り、様々な学習を通じて感性を磨き、将来の職業を想像し実現してほしいと締めくくりました。</p>

